

情報システム演習 B分野関連紹介

2018/6/14

情報システム学科
情報システム演習B
小宮山智志

情報システムって何だろう？

情報システム

開発者1
(サービス提供側など)

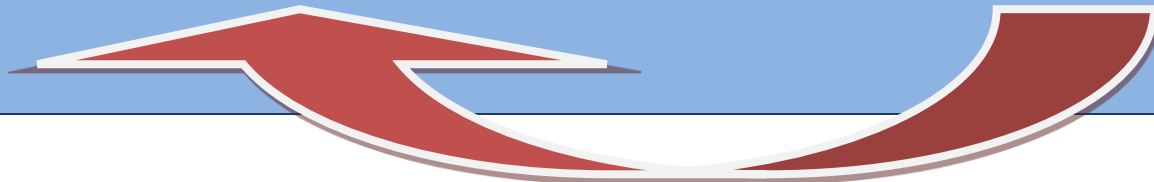
開発者2

コンピュータシステム
*コンピュータを利用したビジネスモデルや行政のしくみなどを含む

利用者1
(顧客・市民など)

利用者2

利用者3



情報コース

A: 情報とシステム

情報システム

D: コンピュータと通信

経営コース

B: 人間と社会

人の感性・社会の仕組み

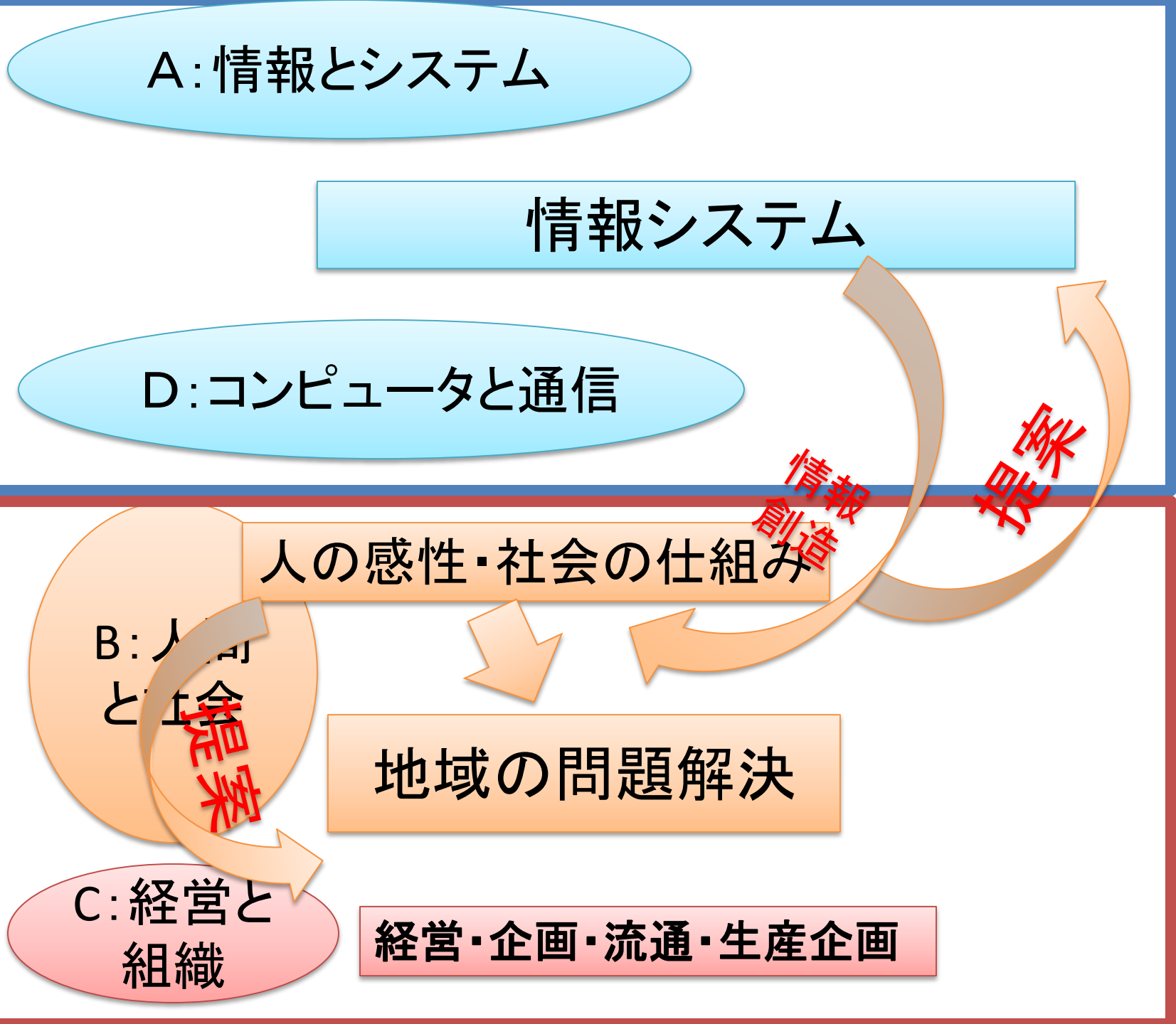
地域の問題解決

C: 経営と組織

経営・企画・流通・生産企画

情報創造

実践



B: 人間と社会分野

“人”の感性や
体・心のしくみ

“人々”の行動
や地域の結び
つき

分析

情報システム演習 (B分野 第1回)

演習の概要

人間や社会を対象としたB分野における種々のデータ(アンケートのデータ、心理実験のデータ、社会調査のデータなど)はバラツキが多いのが特徴である。B分野の研究においては、このバラツキの多いデータから意味のある情報を引き出さなければならない。

この時に威力を発揮するのが統計学、特に少数のサンプルデータから背後の母集団の特徴を科学的に推定する推測統計学である。

演習のねらい

推測統計学の中でも利用頻度の高い「検定」を取り上げ、これを習得することを主たる目的としている。

- ①統計上の計算はエクセルの統計計算機能を活用
- ②報告に耐えるグラフの作成
- ③分析結果の報告
(レポート・プレゼンテーション)

演習の構成

回数	課題	項目	ねらい
1回目	1	一対の標本による平均の検定： t検定(1)	t検定の習得：エクセルの分析ツールを活用する
2回目		一対の標本による平均の検定： t検定(2)	
3回目	2	クロス集計とカイ2乗検定	カイ2乗検定の習得：エクセルの統計関数を活用する
4回目	3	グループでの課題演習(1) ーグループ編成、課題の選択ー	習得した手法を活用する
5回目		グループでの課題演習(2) ーデータ解析ー	
6回目		グループでの課題演習(3) ー発表資料作成ー	
7回目		グループでの課題演習(4) ー発表ー	

B分野演習の配点

下記の配点で評価する

・コメント点	: 5点 × 7	: 35点
・課題1レポート点		: 10点
・課題2レポート点		: 5点
・グループ課題点		: 50点
計		100点

情報システム演習 (B分野 第4回)

予定

回	予定
第1回	チーム分け、課題決定、解析開始
第2回	解析続き・発表資料作成
第3回	第1回発表(個別)、発表資料修正
第4回	第2回発表(全体)

本日の流れ

- 予定・本日の流れ
- 課題説明1
- チーム分け
- 働き方のタイプ:6色の帽子
- 連絡先交換・チーム名決定
- 課題説明2
- プロジェクトマネージャー・分担決定
- 解析開始

課題説明1

- ・グループ課題①～⑤のうちのひとつ
- ・グループで話し合って決定

発表方法

- パワーポイントの資料に**分かりやすく**まとめる
簡潔な短い文章
大きな字
絵(図、表、写真など)で説明
- 発表時間**7分±1分**
- 発表者: チームで相談

チーム数・人数

- 22名 \Rightarrow 5チーム
- 4名チーム 3つ
- 5名チーム 2つ

- チームの分け方は、、、

チーム分け

- バースデーリング
- 教室内で人の輪を作ります。
- 教卓前 小宮山5月3日生まれ
- 時計回りに誕生日順に並びます。
- 5名・4名・4名・4名・4名の5チームを作ります。

チーム内自己紹介

- 知っているかもしれないけれど
- 4象限自己紹介

名前	今日の気分
好きな食べ物	働き方のタイプ

6色の帽子

スタンフォード白熱教室
第4回 「6色の考える帽子」

働き方のタイプ

- 6つのタイプ

- 白: 情報を確認することが好き
- 緑: 斬新なアイデア出すことが好き
- 黄: アイディアのメリットを見つけるのが好き
- 黒: アイディアのデメリットを見つけるのが好き
- 赤: 気持を前面に出すのが好き(情熱)
- 青: 段取りを考えるのが好き(プロジェクトマネージメント)

連絡先交換

- チームで連絡方法を決めてください。
LINEのグループ、メールなど
- そのチームの連絡にコミヤマも入れてください。
- 小宮山のメールアドレス、LINE IDはホワイトボード参照

チーム名を決めよう

- チームで共通点を探す
- ⇒ 共通点に関するイカした名称をつけよう
- チーム名とメンバー名を印刷して提出

課題説明2

- 各課題について説明します(テキスト参照)。
- 取り組む課題(グループ課題①～⑤)を**チーム**で決めてください。
- 先ほどの連絡方法で、コミヤマも含めて全体で共有

プロジェクトマネージャーを決めてください

- プロジェクトマネージャー 1名
 - 全体の進行を見る
 - 予定外に遅れている
 - サポートをつけ、締め切りに間に合うよう
- サブマネージャー1名
 - プロジェクトマネージャーが休んだ時のために

課題の解析開始

- 分担する
- 全員が行う
- 検定は2名以上が行い、数字が合うか確認
- グラフは1名が作成するが、必ず別のひとにチェックしてもらおう
- 発表も全員が行う: 分担
- チームごと キレのいいところで解散

グループ課題 第3回 (全体6回目)

- **すでに発表準備終わったチーム**
 - 発表練習 コミヤマ聞きます。
 - →国際交流センターに移動
- **まだ準備中**
 - 進めてください。
 - 発表可能になったら、順次、発表練習
- **資料: 来週水曜日までに小宮山にメールの添付ファイルで送信**
komiyama@nuis.ac.jp^{B分野}

最終回:時間タイト 素早く行動

- 発表順 じゃんけん 勝ったチームから
- 相互評価:自分のチーム以外
 - ポータルの講義連絡送信済み
 - URLにアクセスして回答:発表始まる前に各自準備
 - 回答結果は、全員に公開(ポータルで送信)
- 総合得点の一人平均値 最多のチームに景品
- 6色の帽子:振り返りアンケート
 - 自分とチームのメンバーの色(自分の知っている自己・他者の知っている自己)
 - これも全員に公開

発表順

- 1:
- 2:
- 3:
- 4:
- 5:

- 優勝チーム: ???